

冬は火災が増加！安全に暖かく暮らすには？ ～電気ストーブは正しく使いましょう～

平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間に NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}では、ストーブ (電気ストーブ、石油ストーブ、ガスストーブ) の事故は 870 件ありました。中でも電気ストーブ^{※2}による事故は 434 件^{※3}と最も多く、ストーブの事故全体の約半数を占めています。

電気ストーブによる火災などの事故は毎年 11 月頃から増加し、年末から年始にかけて事故の件数はピークを迎えます。電気ストーブは手軽な暖房器具として広く使用されており、火を使用しないため危険性が低いと思われがちですが、誤った使い方による住宅の全焼や死亡事故も発生しています。電気ストーブによる事故の被害状況をみると、434 件のうち、270 件 (62%) が火災を伴っており、また、死亡事故は 26 件 (27 人) となっています。特に 60 歳代以上の高齢者による死亡事故は全体の 85% を占めているため、注意が必要です。

電気ストーブの近くに可燃物を置かない、就寝時や側を離れる際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜くなど、正しい使用方法を確認し、事故を未然に防ぎましょう。また、リコール製品による事故も発生しているため、リコール情報を確認してください。

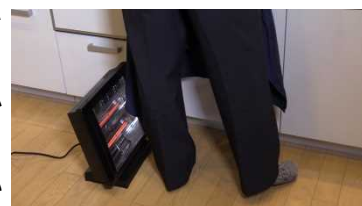
■事件事例

- 脱衣場を暖めるために電気ストーブのスイッチを入れて放置した際、可燃物が接触して製品と周囲を焼損する火災が発生した。【平成 26 (2014) 年 2 月、徳島県】
- 電気ファンヒーターを使用中、電源コードに繰り返し強い力が加えられたため断線し、出火した。【平成 28 (2016) 年 10 月、福岡県】
- 幼児が使用中の電気ファンヒーターにつかまり立ちをし、高温の部分に触れたためやけどを負った。【平成 27 (2015) 年 12 月、発生地不明】
- 電気ストーブの部品に不良品が混入していたため、使用中に部品が異常発熱し、製品から出火、家屋を全焼する火災が発生し、使用者がやけどを負った。【平成 29 (2017) 年 1 月、和歌山県】



■電気ストーブの事故を防ぐポイント

- 使用中はその場を離れない。就寝、外出、入浴の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。特に就寝用の暖房器具として絶対に使用しない。
- 台所、脱衣場、トイレなど狭い場所で使用する場合は周囲に可燃物を置かないように特に注意する。
- 乳幼児の近くで使用する場合は、乳幼児から目を離さない、手の届かない場所に置くなど、やけどに注意する。
- 子ども部屋で使用する場合は、子どもに火災の危険性を教え、近くに可燃物を置かない。
- 電源コードは断線に注意して丁寧に取り扱う。
- ペットが可燃物を近くに運ぶおそれもあるため、ペットから目を離さない、使用しない時は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
- お手持ちの製品がリコール対象かどうか確認する。



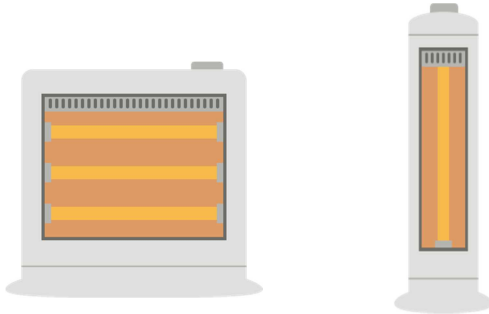
(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報 (被害なし) を含む。

(※2) 赤外線を放射する放射式、温風式 (電気ファンヒーターなど) 及び対流式 (オイルヒーターなど) を総称する。

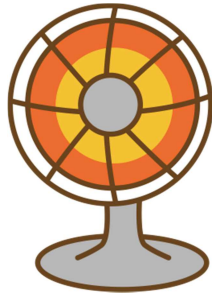
(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

電気ストーブには様々な方式、形状があります。代表的な電気ストーブを以下に示します。

電気ストーブ



放射式電気
ストーブ



温風式電気
ストーブ



対流式電気
ストーブ

1. 事故の発生状況

NITE が収集した製品事故情報のうち、平成 24 年度～平成 28 年度に発生した電気ストーブによる事故 434 件について、事故の発生状況を次に示します。

(1) 年度別 事故発生件数

図 1 に電気ストーブの事故における「年度別 事故発生件数」を示します。

事故の件数は平成 24 年度から平成 26 年度にかけて減少しましたが、平成 27 年度には事故の件数が増加しています。また、火災件数をみると、この 5 年間で、毎年 60 件近い事故が発生しているため、注意が必要です。

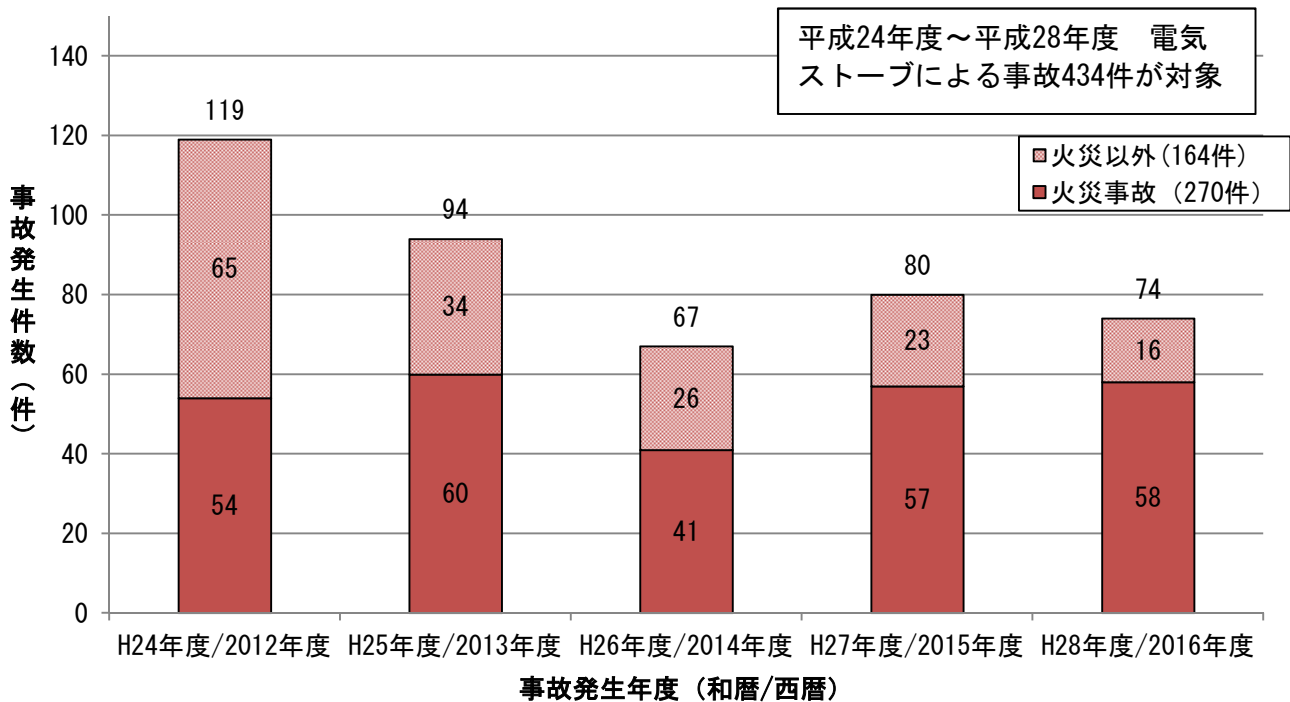


図 1 年度別 事故発生件数

(2) 月別 事故発生件数

図2に電気ストーブの事故における「月別 事故発生件数」を示します。

事故は11月から増加し、1月に最も多く発生しています。1月までは月を重ねる毎に急激に増加するため、本格的な冬を迎えるこれからの季節は特に注意が必要です。

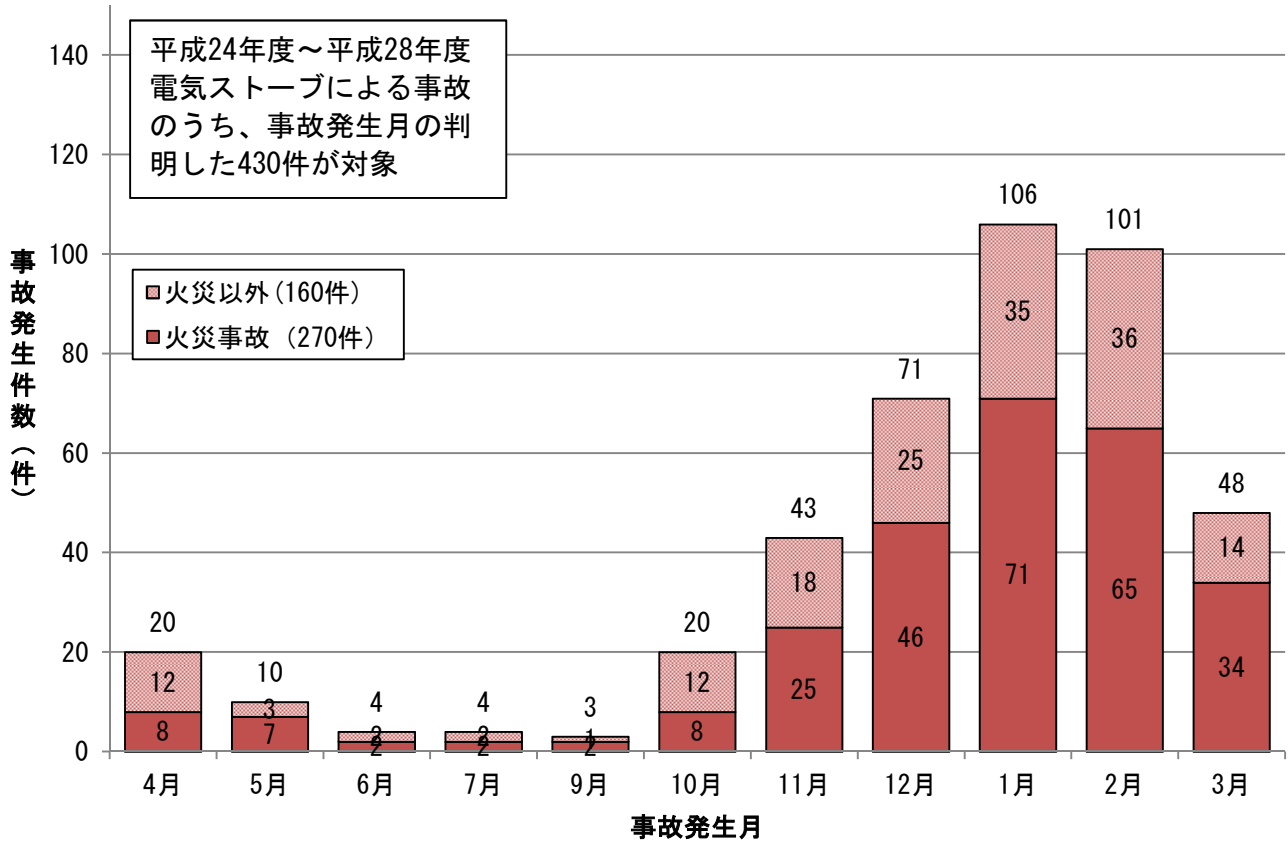


図2 月別 事故発生件数

(3) 事故発生場所

図3に電気ストーブの事故発生場所を示します。また、次ページ表1に「事故発生場所別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

電気ストーブの多くは軽量で持ち運びやすいため、屋内の様々な場所で使用されています。居間以外にも、寝室、脱衣場、トイレ、台所、子ども部屋など、電気ストーブと部屋に置かれた物の距離が近い場所で使用中に、可燃物が接触して事故に至っている事例があります。

また、事故発生時の状況は、電源スイッチを入れたままその場を離れたり、寝込んでしまったり、中には衣類などの乾燥に使用したりして事故に至る場合もあります。

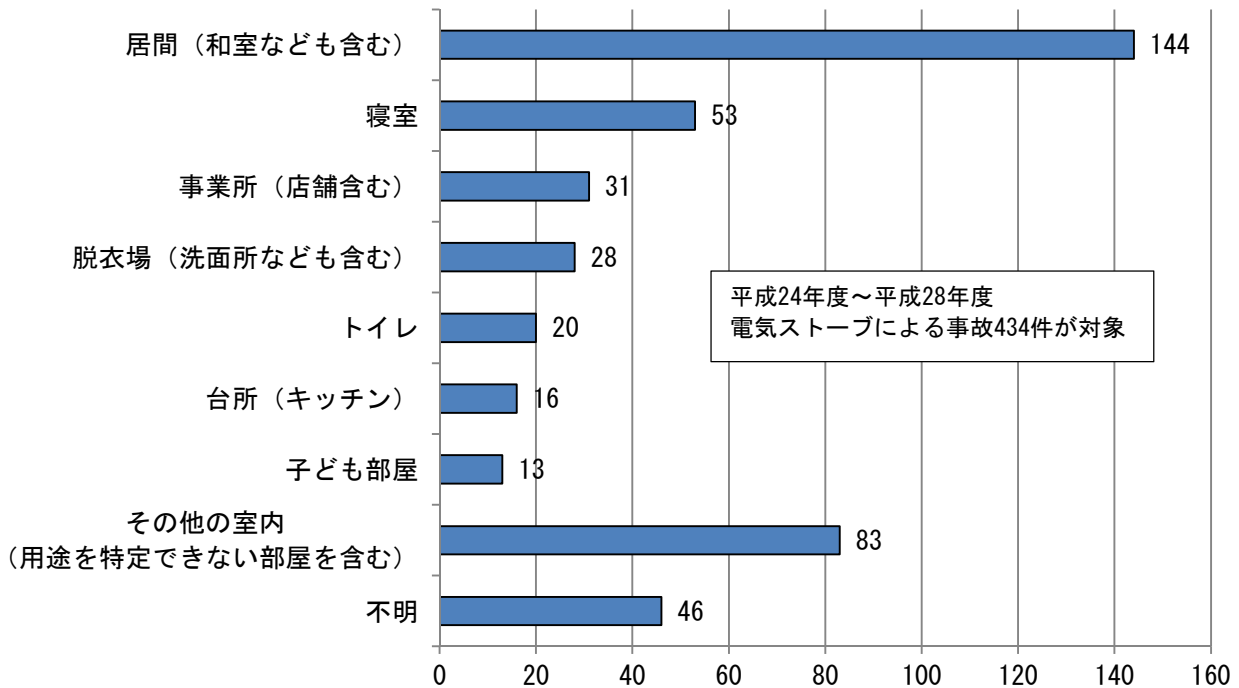


図3 事故発生場所

事故発生場所と事故発生時の詳細をみると、使用場所にかかわらず、電源スイッチを入れたままその場を離れた際に事故が発生しています。特に寝室では就寝中に多くの事故が起こっており、電源スイッチを入れたまま寝込んでしまい、寝具などの可燃物が電気ストーブに接触したことにより事故に至ったと考えられます。就寝中は異常に気付きにくく、大きな事故につながります。他にも居間や寝室、脱衣場などで衣類の乾燥に使用していた事例もあります。電気ストーブの上部で衣類などを干していると、乾いて軽くなった衣類などが上昇気流にあおられて落下することがあります。衣類などの乾燥には絶対に使用しないでください。

また、電源コードの破損による事故も発生しています。手軽に持ち運べて、様々な場所で使用されている電気ストーブですが、移動させる際に電源コードを傷付けてしまうこともあるので、丁寧に取り扱ってください。

表 1 事故発生場所別 事故発生状況別 事故発生件数

事故発生場所	事故発生状況	使用中※ 4	使用中に その場を 離れる	就寝中	衣類など を乾燥中	電源を 切ってい た	誤って電 源スイッ チを入れる	不明	総計
居間(和室なども含む)		87	22	10	8	2	2	13	144
寝室		10	9	26	2	1		5	53
事業所(店舗含む)		24	2			2		3	31
脱衣場(洗面所なども含む)		16	6		2		1	3	28
トイレ		17	2			1			20
台所(キッチン)		14			1	1			16
子ども部屋		7	1			3		2	13
その他の室内(ワンルームなど 用途を特定できない部屋を含む)		64	5	3	3	3	1	4	83
不明		31	3	1		2		9	46
総計		270	50	40	16	15	4	39	434

(※4) 少なくとも電源スイッチは入っていた状態

(4) 年代別 人的被害の発生した事故件数

図4に電気ストーブの事故における人的被害が発生したうち、被害者の年代が判明した49件について「年代別 人的被害の発生した事故件数」を示します。

高齢者による死亡事故が多く発生しています。高齢になるにつれて死亡・重傷事故件数が大幅に増加しています。事故の中には衣服などが電気ストーブに接触したまま気付かずに事故に至った事例もあり、注意が必要です。

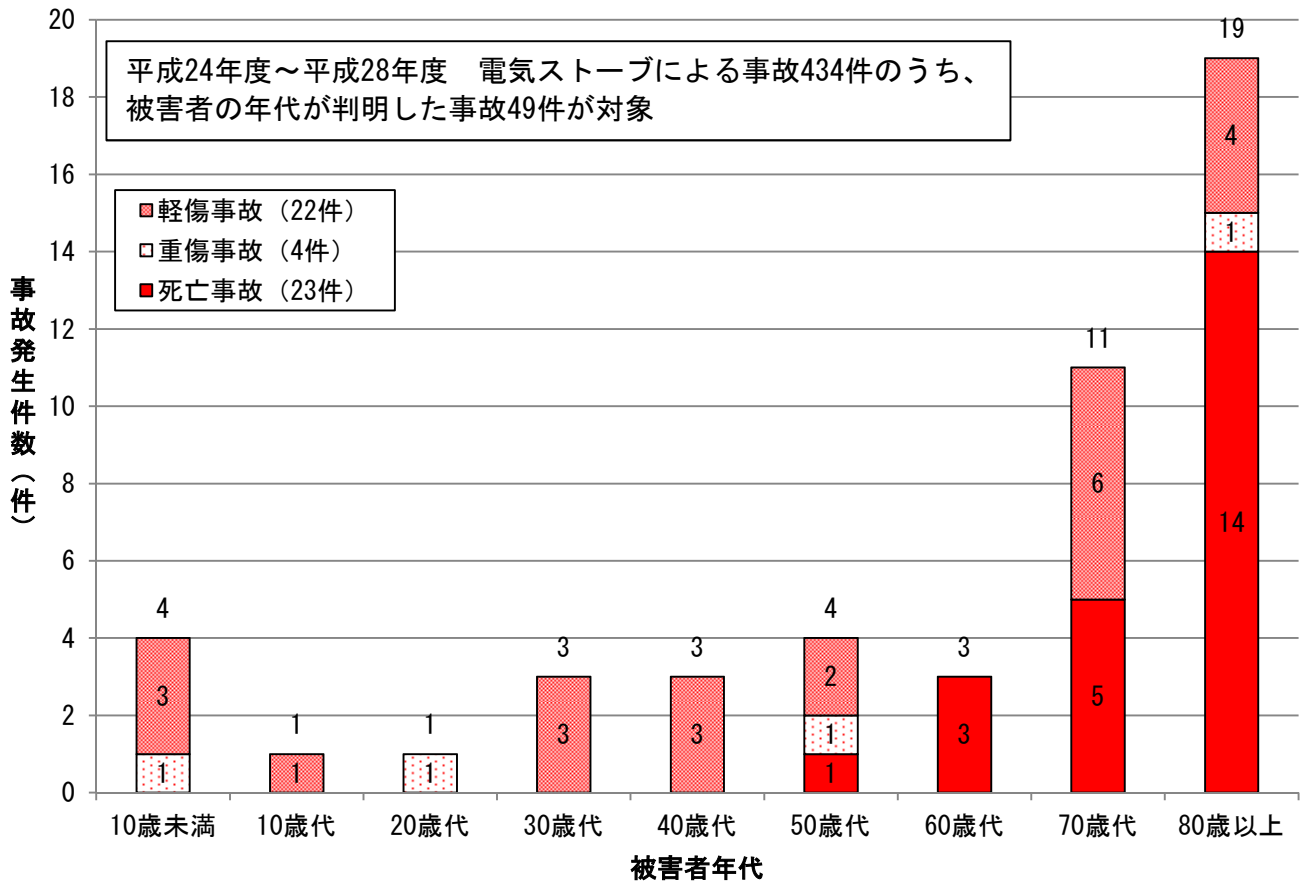


図4 年代別 人的被害の発生した事故件数

(5) 原因区分別の事故発生件数

電気ストーブによる事故 434 件のうち、調査が終了した 376 件について、図 5 に「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分（別紙 2 参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 203 件（54%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 77 件（20%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 96 件（26%）

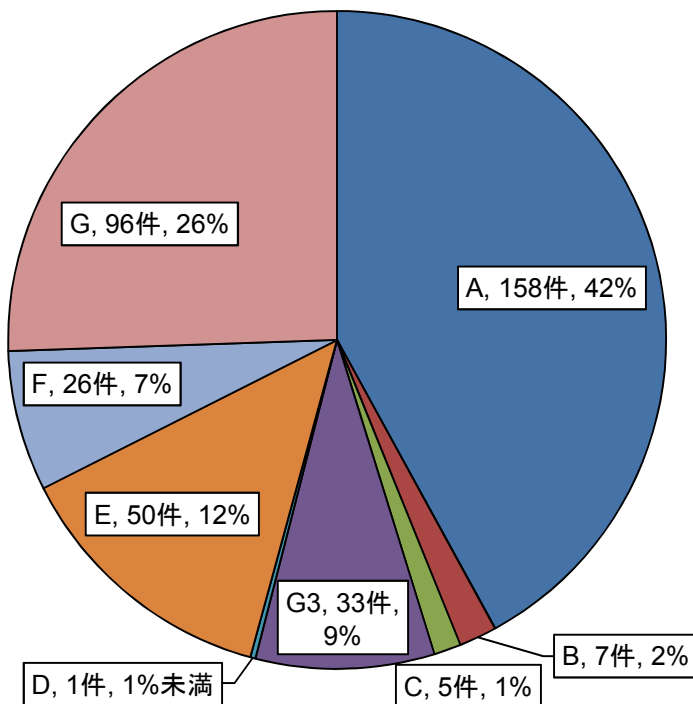
となっています。

製品に起因する事故は 203 件（54%）あり、事故の半数を占めています。

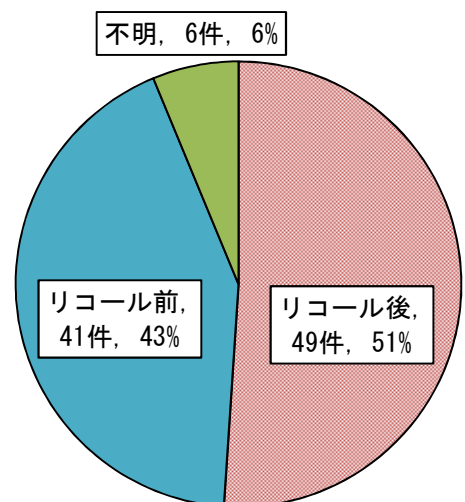
製品に起因する事故の内 96 件はリコール製品による事故であり、「部品の製造不良」や「製品の組付け不良」による発熱、発火の事故が発生しています。96 件のリコール製品のうち、リコール後に発生した事故は 49 件（51%）を占めています。リコール情報などに注意し、お手持ちの製品が対象かどうかを速やかに確認してください。

一方、製品に起因しない事故は 77 件（20%）発生しており、「可燃物が接触して発火」や「コードの断線による発火」などの事故が発生しています。電気ストーブの取り扱いに対する注意が必要です。

平成24年度～平成28年度 電気ストーブによる事故のうち、事故調査の終了した376件が対象



- A：設計・製造又は表示などに問題があったもの
- B：製品及び使い方に問題があったもの
- C：経年劣化によるもの
- G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの
- D：施工、修理又は輸送などに問題があったもの
- E：誤使用や不注意によるもの
- F：その他製品に起因しないもの
- G：原因不明のもの（G3を除く）



リコール製品による事故の内訳

図 5 原因区分別 事故発生件数

(6) 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数

表2に「事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

事故の発生件数は製品に起因する事故が376件中203件(54%)と最も多く、その中でも「A:設計・製造又は表示等に問題があったもの」が158件発生しています。一方、製品に起因しない事故は77件の事故で23名が死亡や重傷を含む被害にあっています。製品に起因する事故は製品単体又は周囲の一部が焼損する場合がほとんどですが、製品に起因しない事故は可燃物の接触などによるため、事故発生時の被害が大きくなっています。

表2 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数^{※5}

原因区分		被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	総計
				死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A:設計・製造又は表示等に問題があったもの		1 (1) [1]		4 (4) [2]	46 (0) [31]	107 (0) [38]		158 (5) [72]	
	B:製品及び使い方に問題があったもの						7 (0) [1]		7 (0) [1]	
	C:経年劣化によるもの					2 (0) [2]	3 (0) [1]		5 (0) [3]	
	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの		1 (1) [1]		1 (1) [1]	15 (0) [13]	16 (0) [8]		33 (2) [23]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	2 (2) [2]	0 (0) [0]	5 (5) [3]	63 (0) [46]	133 (0) [48]	0 (0) [0]	203 (7) [99]	
製品に起因しない事故	D:施工、修理又は輸送等に問題があったもの						1 (0) [1]		1 (0) [1]	
	E:誤使用や不注意によるもの		3 (3) [3]		4 (4) [1]	34 (0) [30]	9 (0) [3]		50 (7) [37]	
	F:その他製品に起因しないもの		4 (4) [4]	1 (1) [0]	4 (11) [4]	15 (0) [14]	2 (0) [1]		26 (16) [23]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	7 (7) [7]	1 (1) [0]	8 (15) [5]	49 (0) [44]	12 (0) [5]	0 (0) [0]	77 (23) [61]	
G:原因不明のもの(G3を除く)		9 (10) [9]	3 (3) [2]	10 (12) [7]	58 (0) [44]	14 (0) [3]	2 (0) [0]	96 (25) [65]		
総計		18 (19) [18]	4 (4) [2]	23 (32) [15]	170 (0) [134]	159 (0) [56]	2 (0) [0]	376 (55) [225]		

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(7) 誤使用及び誤使用が疑われる事故の発生状況別 被害状況

以下、表3に誤使用及び誤使用が疑われる事故84件の「事故発生状況別 被害状況」を示します。

「可燃物が放射熱で加熱又は接触」では多くの被害が発生しており、9名が死亡に至っています。発熱部が露出した構造（放射式）の電気ストーブと異なり、発熱部が直接見えない構造（温風式）の電気ファンヒーターも、「可燃物が放射熱で加熱又は接触」による事故が発生しています。

表3 事故の発生状況別 被害状況※5

事故発生状況	被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	総計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
可燃物が放射熱で加熱又は接触(着衣に着火したものも含む)	9 (9) [9]		4 (11) [4]	34 (0) [32]	1 (0) [0]				48 (20) [45]
電源コード(プロテクター、内部配線コードを含む)が繰り返しの引っ張り、折り曲げなどで断線・ショートし発火				13 (0) [9]	6 (0) [3]				19 (0) [12]
電源プラグ周辺(刃受けやプラグ内部)が接触不良などで異常発熱				3 (0) [1]	1 (0) [0]				4 (0) [1]
乳幼児が高温部分に触れて、やけど			2 (2) [0]						2 (2) [0]
不正改造				3 (0) [3]					3 (0) [2]
修理不良				1 (0) [1]	1 (0) [1]				2 (0) [2]
故障品を使用					1 (0) [0]				1 (0) [0]
ほこりが付着するなどして風量不足となり、異常発熱				1 (0) [1]	1 (0) [1]				2 (0) [2]
放射熱で低温火傷		2 (2) [0]	1 (1) [0]						3 (3) [0]
総計	9 (9) [9]	2 (2) [0]	7 (14) [4]	55 (0) [46]	11 (0) [5]	0 (0) [0]			84 (25) [64]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 電気ストーブによる事故事例

① 誤使用や不注意による事故

(イ) 可燃物の接触による火災

平成 26 (2014) 年 2 月 12 日 (徳島県、30 歳代・女性、拡大被害)

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、製品と周囲を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

脱衣場を暖めるために電気ストーブのスイッチを入れ、その場を離れて別の部屋にいたところ、火災が発生した。

製品に繊維が付着していたことから、使用していた電気ストーブに可燃物が接触し、火災に至ったものと考えられる。



(ロ) 就寝中の火災

平成 26 (2014) 年 1 月 11 日 (静岡県、70 歳代・男性、死亡)

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、製品及び周辺を焼損する火災が発生し、就寝中の使用者が死亡した。

【事故の原因】

就寝中に電気ストーブを寝具の近くで使用していたため、布団が電気ストーブに接触し、火災に至ったものと考えられる。



(ハ) 電源コードからの発火

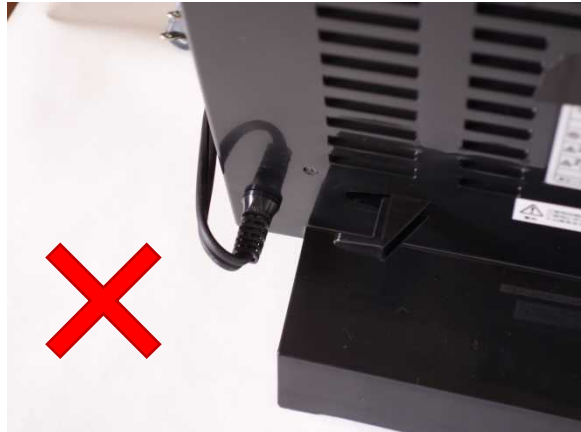
平成 28 年 (2016) 年 10 月 20 日 (福岡県、40 歳代・男性、拡大被害)

【事故の内容】

電気ファンヒーターを使用中、製品と周囲を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

本体側の電源コードのコードプロテクターに大きな力が繰り返し加わり、損傷した電源コードが断線し、出火したものと考えられる。



(ニ) 電気ストーブにつかまり立ちをしてやけど

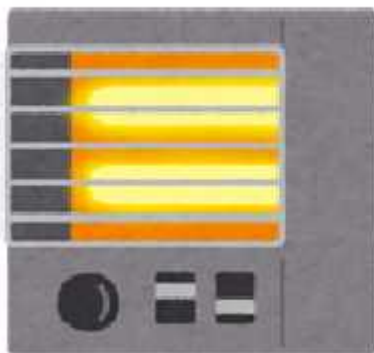
平成 27 (2015) 年 12 月 2 日 (発生地不明、1 歳前後、軽傷)

【事故の内容】

子どもが使用中の電気ファンヒーターにつかまり立ちしたところ、手にやけどを負った。

【事故の原因】

保護者が目を離した際に子どもが高温となっていた製品の一部をつかんだため、やけどを負ったものと考えられる。



電気ストーブの気を付けるポイント

○ストーブで衣類などを乾かしたり、周囲に可燃物を置いたりしない。

電気ストーブの上で衣類を乾燥させると、乾燥によって軽くなった衣類などが上昇気流であおられて落下し、高温部に接触することで、火災に至るおそれがあります。ストーブ前方に干しても、放射熱によって加熱される、空気の対流によって衣類などが高温部に接触するなど、危険です。また、冬場に室内の加湿目的と合わせて衣類などを乾燥させる方もいるようですが、同様に火災のおそれがあり危険です。

電気ストーブの周囲に布団や衣類などを置いたり、カーテンの近くに電気ストーブを置いたりする、放射熱による加熱や高温部への接触によって、火災のおそれがあります。このような使用方は絶対にしないでください。



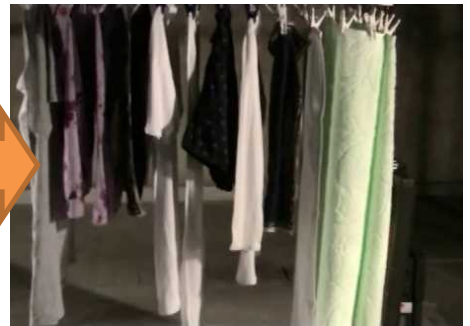
(写真) 電気ストーブに衣類が接触して発火する様子 (イメージ)



たとえ離して置いたとしても…



空気の対流によって衣類が動き接触するおそれがあります



○製品から離れる際、外出時などには電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

部屋を暖めようとするなどして使用中にその場を離れている間に、可燃物が接触して火災が発生した事故もあります。発見が遅れ、製品のみならず周辺を焼損する事態に至る可能性が高いため、外出や別の部屋に移動するなど、製品から離れる際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

○就寝時には使用しない。

つけたまま就寝することは火災のおそれがあり、危険です。寝具が高温部に触れるなどによって着火するおそれがある上、外出時と同様に発見が遅れ、大きな火災となるおそれもあります。就寝時の使用は絶対にしないでください。

(写真) 電気ストーブに布団が接触して加熱される様子



○電気ストーブの電源コードは丁寧に扱う。

電気ストーブでは、電源プラグと電源コードの付け根 (コードプロテクター) で電源コードが断線し、スパークが発生し火災に至っています。電源プラグをコンセントに差し込んだまま電気ストーブを移動させないでください。同様に、電気ストーブの保管時に電源コードを本体にきつく巻き付けないでください。いずれの場合も電源コードに大きな力が加わり、断線するおそれがあります。

② リコール製品による事故

(イ) 部品の不良による火災

平成 29 年 1 月 6 日（2017 年 1 月 6 日）（和歌山県、80 歳代・女性、軽傷）

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、製品から出火し、家屋を全焼する火災が発生し、使用者がやけどを負った。

【事故の原因】

電気ストーブの強弱スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。

事故品は 2007 年のリコール開始から繰り返し新聞社告やインターネット広告、ダイレクトメールの送付などを行っていた。

リコール製品による事故を防ぐために

電気ストーブの製品に起因する事故 203 件のうち、リコール製品による事故は 96 件ありました。このうち 49 件はリコール実施後に発生したものとなっています。

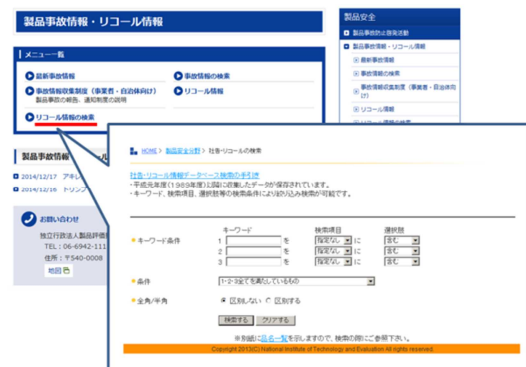
事例に記載されている事故情報のように、リコール情報が新聞やダイレクトメールなどで繰り返し告知されているものもあれば、事業者のホームページのみにリコール情報が掲載されているものもあります。

お持ちの製品がリコール対象かどうかを確認していただき、事故を未然に防ぎましょう。

リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入業者に相談してください。

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造事業者、販売事業者などの事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

リコール情報について、別紙 5 に記載していません。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」などの単語で検索してください。



お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 新井 勝己
担当者 穴井、酒井、向井

- 記者説明会当日
電話 : 03-3481-6566 FAX : 03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話 : 06-6612-2066 FAX : 06-6612-1617

電気ストーブの事故における死亡事故の概要について

以下に参考情報として、電気ストーブの事故における死亡事故の概要を示します。

no	発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容（原因区分）
1	20121117	電気ストーブ	鹿児島県	90歳代・女性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品に接近していたため着衣に着火。(E)
2	20130111	電気ストーブ	愛知県	70歳代・男性 死亡	約10日	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品に繊維状の付着物が認められた。(F)
3	20130113	電気ファンヒーター	神奈川県	年齢性別不明 死亡	約30年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。可燃物の接触により着火(E)
4	20130206	電気ストーブ	北海道	90歳代・男性 死亡	約10年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
5	20130221	電気ストーブ	滋賀県	80歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
6	20130304	電気ストーブ	大阪府	50歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
7	20131122	電気ストーブ	山口県	90歳代・女性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品に異常は認められない。(F)
8	20131227	電気ストーブ (オイルヒーター)	富山県	60歳代・男性 死亡	約23年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
9	20140111	電気ストーブ	静岡県	70歳代・男性 死亡	約6年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。就寝時に使用し寝返りなどで可燃物が接触したために着火。(E)
10	20140205	電気ストーブ	埼玉県	80歳代・男性 死亡	約2年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品に繊維状の付着物が認められ、内部から出火した痕跡は認められない。(F)
11	20140204	電気ストーブ	埼玉県	年齢性別不明 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
12	20140218	電気ストーブ	神奈川県	80歳代・男性 死亡	約10年 11か月	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品に異常はみとめられず、周囲に衣類のような燃えかすがあった。(F)

no	発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容（原因区分）
13	20140225	電気ストーブ	大阪府	80歳代・女性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。出力切り替え用部品に不具合があったため発熱。発火した。(A)
14	20141210	電気ストーブ	静岡県	90歳代・女性 死亡	約4日	製品と周囲が焼損し1名が死亡。製品内部からの出火が確認された。(G3)
15	20150216	電気ストーブ (オイルヒーター)	香川県	60歳代・女性 死亡	約25年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
16	20150119	電気ストーブ (オイルヒーター)	奈良県	80歳代・女性 死亡	約8年	住宅を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現在調査中(H)
17	20150204	電気ストーブ	兵庫県	70歳代・男性 死亡	不明	住宅を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
18	20150224	電気ストーブ	埼玉県	70歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。出火点が不明。(G)
19	20160127	電気ストーブ	長崎県	60歳代・男性 死亡	不明	住宅2棟を全焼する火災が発生し、2名が死亡した。焼損が著しく原因の特定ができなかった。(G)
20	20160430	電気ストーブ	千葉県	80歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)
21	20161115	電気ストーブ	愛知県	80歳代・男性 死亡	約4年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)
22	20170116	電気ストーブ	大阪府	年齢不明・女性 死亡	約3年	住宅を半焼し1名が死亡。原因を調査中。(H)
23	20170127	電気ストーブ	大阪府	90歳代・男性 死亡	約35年	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)
24	20170217	電気ストーブ	長崎県	80歳代・女性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)
25	20170214	電気ストーブ	大阪府	70歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)
26	20170131	電気ストーブ	長崎県	90歳代・男性 死亡	不明	製品と周囲が焼損し1名が死亡。原因を調査中。(H)

事故原因区分について

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示などに問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送などに問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱いなどに問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

各種ストーブの事故発生件数

以下に参考情報として、図1にストーブの種類の平成24年度～平成28年度の5年間ににおける事故発生件数を示します。また、図2に電気ストーブの種類別の事故発生件数を示します。

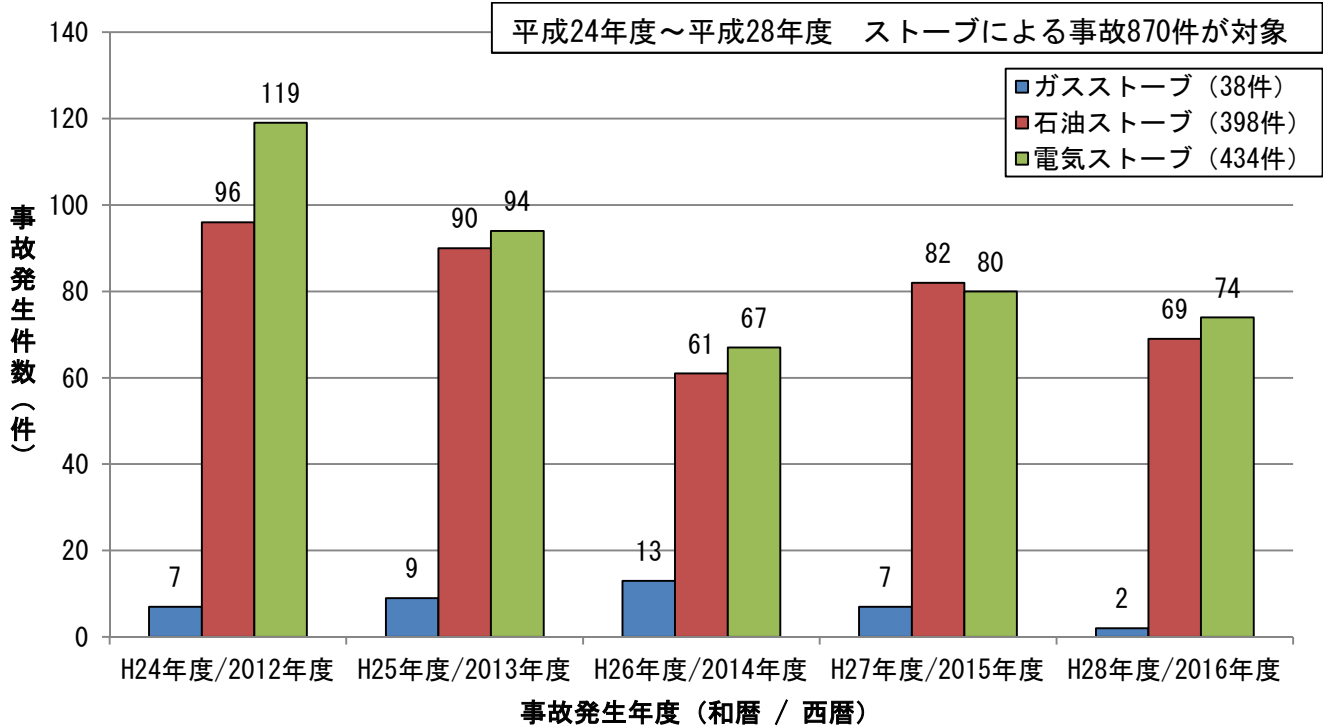


図1 ストーブの種類別 事故発生件数

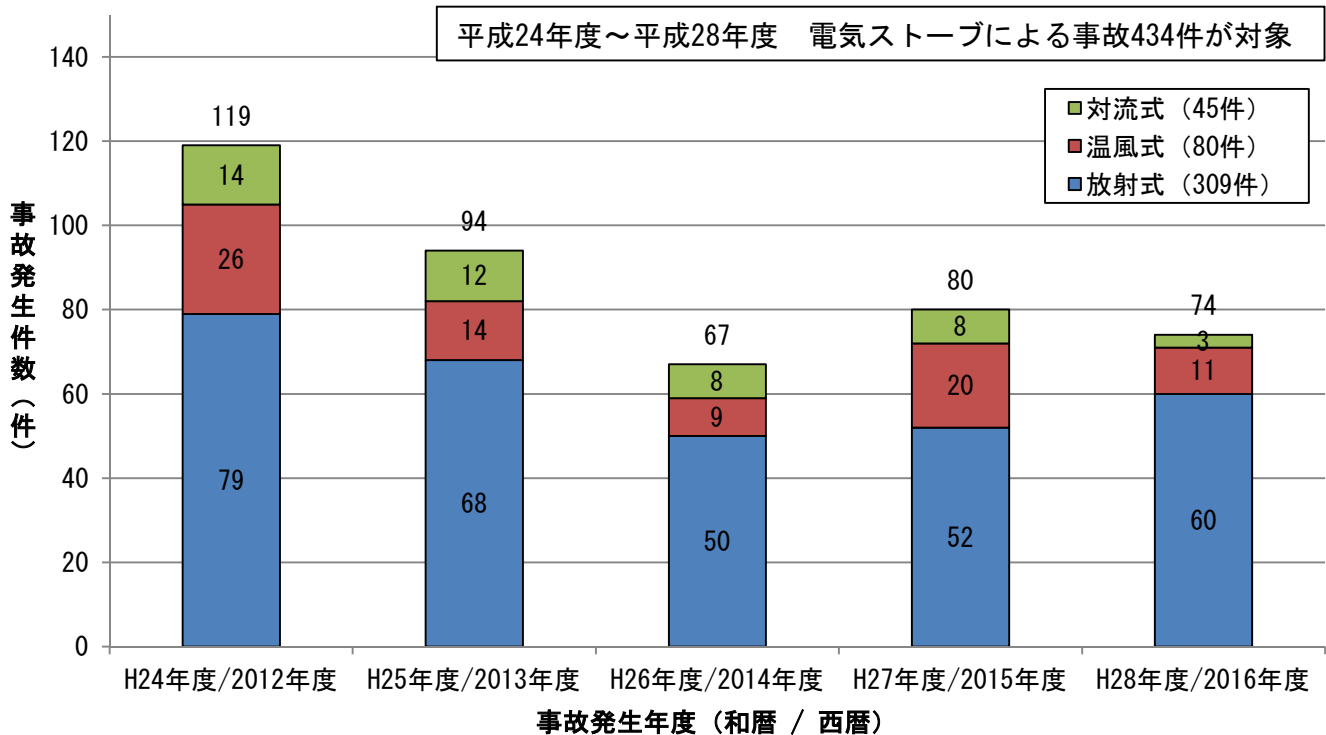


図2 電気ストーブの種類別 事故発生件数

状況別事故発生件数

以下に参考情報として、「事故発生時の状況別 事故発生件数」及び「事故発生時の事象別 事故発生場所別 事故発生件数」を示します。

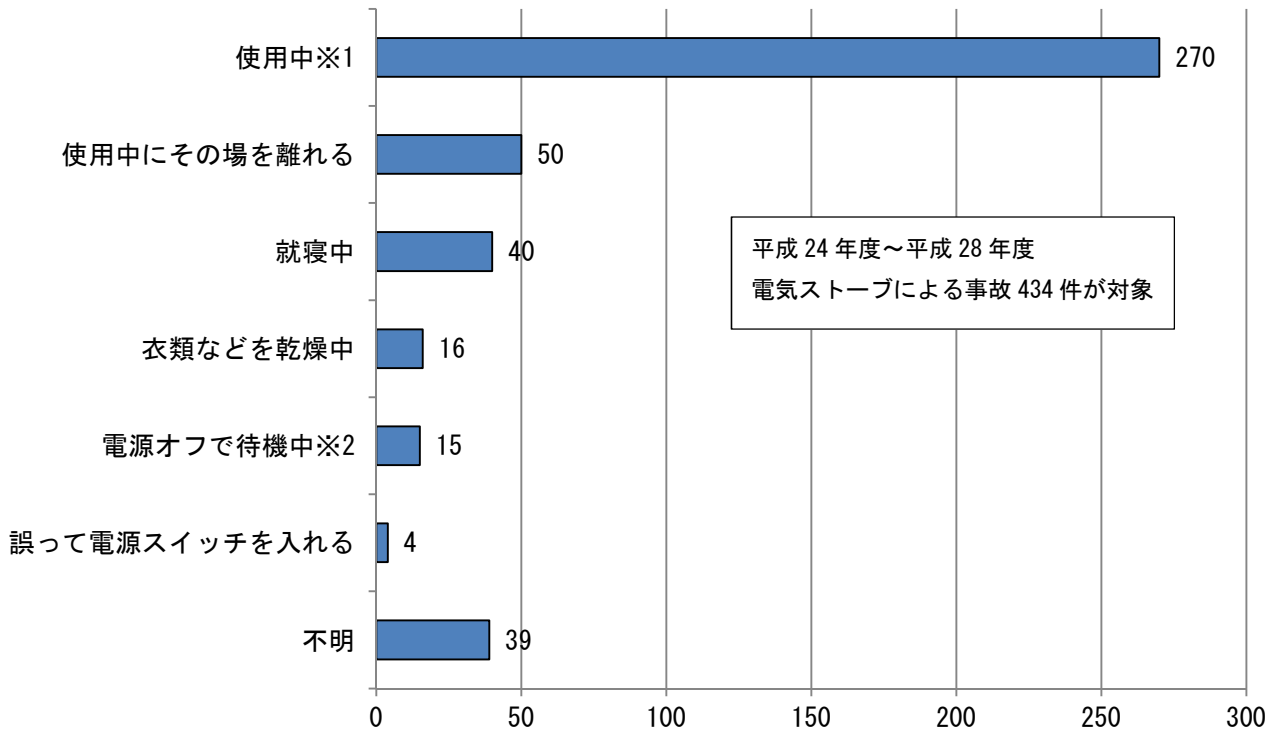


図 3 事故発生時の状況

(※1) 少なくとも電源スイッチは入っていた状態。

(※2) 電源プラグをコンセントに差していたが、電源スイッチはオフの状態。

表 1 事故発生時の事象別 事故発生場所別 事故発生件数

事故発生場所 事故発生時の事象	居間(和室 なども含 む)	寝室	事業所(店 舗含む)	脱衣場(洗 面所など 含む)	トイレ	台所(キッ チン)	子ども部 屋	その他の室内(ワ ンルームなど用途 を特定できない部 屋を含む)	不明	総計
内部部品が異常発熱	47	11	7	11	8	8	4	33	17	146
可燃物が放射熱で加熱又は接触(着 衣着火含む)	22	17	1	5	1	2	3	13	2	66
電源コード(プロテクター、内部配線 コードを含む)が繰り返しの引っ張り、 折り曲げなどで断線・ショートし発火	15	3	8	3	2	4	1	6	6	48
電源プラグ周辺(刃受け間やプラグ内 部)が接触不良などで異常発熱	2	3	3					2	2	12
その他	20	9	5	4	7	1	2	15	10	73
不明	38	10	7	5	2	1	3	14	9	89
総計	144	53	31	28	20	16	13	83	46	434

公表日	品名	事業者名称	社告内容
1995/12/18	電気ファンヒーター	森田電工株式会社	<p>[型式・機種等] MDS-1200CT ホワイト(WH)、グレー(GY) 製造番号 M100001~M131000 [問い合わせ先等] フリーダイヤル0120-40-1482</p>
2001/10/16	電気ストーブ	日本フィリップス株式会社	<p>[型式・機種等] HD3477、HD3478、HD3479 [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-666105 受付時間 午前9時~午後7時(10月末までは土・日・祝日:「午前9時~午後5時」も対応)</p>
2003/2/28	電気ストーブ	大宇電子ジャパン株式会社	<p>[型式・機種等] SD-80G [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-882076 受付時間 午前10時~午後5時</p>
2004/2/11	電気ストーブ	総合技研株式会社	<p>[型式・機種等] S-700CL S-600CM [問い合わせ先等] 事業者が倒産しており、対応不能のため、使用を中止してください。 (特記ニュースNo.66参照) http://www.jiko.nite.go.jp/news/news66.html (特記ニュースNo.83参照) http://www.jiko.nite.go.jp/news/news83.html</p>
2004/2/12	電気ストーブ	株式会社ミュージーコーポレーション(輸入元) /株式会社山善(販売元)	<p>[型式・機種等] CBH-D900 CBHI-D900 対象製造番号: 25HD~31HD 01JD~26JD [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-069-060 0120-680-286 受付時間 2月12日~2月20日 午前9時~午後7時(毎日) 2月21日以降 午前9時~午後5時30分(土・日・祝日を除く) http://www.yamazen.co.jp/</p>
2004/8/26	電気ストーブ	株式会社日本ビネガーポトラス	<p>[型式・機種等] 本体スタンド背面のステッカーに次の型番が表示されている商品が対象 1. 型番 V-800-GR-I-WH(製造番号0218090001~0218124352) 2. 型番 V-800ST [問い合わせ先等] http://www.vinex.jp/news/index.html</p>
2005/11/14	電気ストーブ	三菱電機株式会社	<p>[型式・機種等] RY-1320B, RY-1520B, RY-1520C RY-2020B, RY-2020C, RY-815B RY-1015B, RY-1315B, RY-1515B [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-702-861 受付時間: 9:00~19:00(2005年12月15日まで、土・日・祝日も受付) 9:00~17:00(2005年12月16日以降、土・日・祝日を除く) http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/baseboardheater/</p>
2005/12/8	電気ストーブ	松木技研株式会社	<p>[型式・機種等] ST-M85(H) グレー 1H0H0001~2860 1H0I0001~2860 1H0J0001~5792 1H0K0001~2860 1H0L0001~4509 ST-M85(A) ブルー 1H0H0001~2860 1H0I0001~2904 1H0J0001~2712 1H0K0001~5792 1H0L0001~2880 [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-223-715 受付時間 土日及び祝日を除く 午前9時~午後6時</p>
2007/1/31	電気ストーブ	輸入元 株式会社シー・アイ・シー /販売元 株式会社ヤマダ電機	<p>[型式・機種等] YS-F800H、YS-F800R、YS-F800N [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-338-622 受付時間: 午前9時~午後6時(日曜は除く) http://www.yamada-denki.jp/information/pdf/070131.pdf</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2007/3/16	電気ストーブ	株式会社フジマック	<p>[型式・機種等] CHL-801 [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-023395 http://www.fujimac.com/</p>
2007/6/14	電気ストーブ	株式会社インターコンプ(発売元) 株式会社ベスト電器(販売店) 住友商事株式会社(輸入元)	<p>[型式・機種等] BJH-881、BJH-801、BJL-801 [問い合わせ先等] 株式会社インターコンプ「ハロゲンヒーター回収専用ダイヤル」 0120-485-448 受付時間：9：00～17：00(日曜除く) ※6月23日(土)まで休まず9：00～19：00受付 http://www.bestdenki.ne.jp/library/image/company/070612harogen_np.pdf</p>
2007/08/07 2008/4/21 (型式追加)	電気ストーブ	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	<p>[型式・機種等] (2005・2006年製) TSK-5328CT 2005年9月～2008年2月 燦坤(サンクン) TSK-5328CRI 2005年9月～2008年2月 燦坤(サンクン) (2005年製) TSK-5328CRI(BW) 2005年9月～2008年2月 株式会社パルス (2006・2007)年 FS-900T 2006年9月～2008年2月 株式会社フィフティ [問い合わせ先等] 燦坤(サンクン)日本電器株式会社「カーボンヒーター回収交換ダイヤル」 フリーダイヤル 0120-600-527 電話受付時間 午前9時～午後5時(土曜・日曜・祝日を除く、但し4月中は受付いたします。) http://www.tsannkuen.jp</p>
2008/10/2	電気ストーブ	デロンギ・ジャパン株式会社	<p>[型式・機種等] 091521TEC [問い合わせ先等] デロンギ・ジャパン テクニカルセンター TEL：0120-804-280/FAX：0120-956-020 受付時間：平日9：30-18：00 https://delonghi-japan.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/6/</p>
2009/5/8	電気ストーブ	コーナン商事株式会社	<p>[型式・機種等] KK22-140H [問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-04-1910 ・受付時間：9：00～17：00(土・日・祝日を除く) http://www.kohnan-oshirase.com/pdf/2.pdf</p>
2010/6/8	電気ストーブ	株式会社ディンプレックス・ジャパン	<p>[型式・機種等] 2006年製 ・型式：ROF14J CADIZオイルヒーター(タイマーなしモデル) ・型式：ROF14ECCJ CADIZオイルヒーター(電子タイマー式モデル) ・型式：ROF14TJ CADIZオイルヒーター(メカタイマー式モデル) ・型式：ROF14TJB CADIZオイルヒーター(メカタイマー式モデル) [問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-783-353 ・受付時間：10：00～17：00(土・日・祝日を除く) http://www.dimplex.jp/topics/2010/06/cadiz.html</p>
2011/2/15	電気ストーブ	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	<p>[型式・機種等] ブランド名：EUPA(ユーパ) UHC-3T：(色：ペーリュ)/UHC-9T：(色：ブルー)/TSK-5328CT(2007年製) [問い合わせ先等] 燦坤(サンクン)日本電器株式会社「カーボンヒーター回収ダイヤル」 ・フリーダイヤル：0120-600-527 ・受付時間：09：00～17：00(土・日祝日は除く。但し2011年2・3月中は受付可) http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/2/24	電気ストーブ	燦坤（サンクン） 日本電器株式会社	<p>[型式・機種等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TSK-5303 (Q、Y、L、) シリーズ (2003年製～2007年製) ・SHQ-8 (2007年製) ・SHH-8 (2007年製) ・SHU-8 (2007年製) ・FS-800W (2005年製～2007年製) <p>[問い合わせ先等]</p> <p>燦坤（サンクン）日本電器株式会社 「電気ストーブ回収ダイヤル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤル：0120-600-527 ・受付時間：09:00～17:00 (土・日祝日は除く) 但し2012年2月3日は土曜・日曜・祝日受付可 <p>http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html</p>
2012/11/30	電気ストーブ	オカダジーエージェイ株式会社	<p>[型式・機種等]</p> <p>MU-M75AK 製造年：2012年製</p> <p>※2011年以前に製造した商製品は、放熱板の成型が正常であることが確認済みのため対象外です。</p> <p>KKEM-7U (W) KKEM-7U (RP) KKEM-7U (O) KKEM-7U (G)</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>オカダジーエージェイ株式会社 サービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤル：0120-432-280 ・受付時間：09:00～17:00 (土曜・日曜・祝日を除く) <p>http://ryohin-keikaku.jp/news/2012_1204.html http://www.eureks.co.jp/pdf/notification.pdf</p>
2013/11/27	電気ストーブ	アクション株式会社 (製造) / ウオサブ ジャパン (販売)	<p>[型式・機種等]</p> <p>WRD20-323 2005年3月～2012年4月 WRD15-416 2005年3月～2012年3月 WRD13-316 2005年3月～2012年3月 WRD13-609 2006年10月～2012年3月 WRD11-316 2005年3月～2012年3月 WRD10-606 2009年8月～2012年3月</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>0120-254-470 受付時間：9時～19時 (年末年始を除く。)</p> <p>http://www.wosab-japan.co.jp/repair/repair_201311_02.html</p>
2013/12/10	電気ストーブ	株式会社ピーナツ クラブ	<p>[製品名及び型式]</p> <p>Smart-Style パワフルヒーター NSB-C56 商品コード：KK-00131</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>株式会社ピーナツ・クラブ 第2営業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話番号：06-6789-0877 ・受付時間：09:00～17:00 (土・日・祝を除く月～金曜日) <p>http://www.peanuts-club.co.jp/content/item-info.html#pfh</p>
2014/2/20	電気ストーブ	株式会社ダイエー	<p>[型式・機種等]</p> <p>コルティナ 電気ストーブ DES-902</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤル：0120-259-222 ・受付時間：10:00～17:00 (土・日曜日を除く) <p>http://www.daiei.co.jp/corporate/index.php/release/lists/detail/997</p>
2014/3/17	電気ファンヒーター	ダイソン株式会社	<p>[型式・機種等]</p> <p>Hot+Cool (ホット アンド クール) AM04 / AM05</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>専用受付センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤル：0120-210-905 ・受付時間：09:00～17:30 (土、日、祝日を含む) <p>http://www.dyson.co.jp/Support/CustomerNotice.aspx#DysonHotCoolAM04AM05 リコール専用サイト：https://www.dysonrecall.com/ja-JP/Info</p>
2014/5/19	電気ストーブ	コーナン商事株式会社	<p>[型式・機種等]</p> <p>KK22-100H KHK22-8547 KK22-103H KK22-143H KK22-143RR KOK22-9733 TK4-H100A TK4-H140 TK4-H140RR TK4-H100A-Y TK4-H140-R</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>コーナン商事株式会社 回収専用コールセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤル：0120-171-657 ・受付時間：09:00～17:00 (土・日・祝日を除く) <p>http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.05.19_owabitojisyukaisyu.pdf</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2015/4/20	電気ストーブ	株式会社インターセントラル	<p>[型式・機種等] EHC-3500 製造番号：M0304343****~M1309343**** EHC-4000 製造番号：M0304341****~M1309341**** 対象製造番号：上4桁 0304~1309（製造年月）、下3桁 341、343（型番識別番号）</p> <p>[問い合わせ先等] 当該製品に関するご質問は最寄りの弊社支店・営業所へお問い合わせください。 北海道営業所 電話番号：(0123) 28-5201 F A X：(0123) 28-5202 盛岡支店 電話番号：(019) 688-1031 F A X：(019) 688-1030 秋田営業所 電話番号：(018) 883-1351 F A X：(018) 883-1361 仙台営業所 電話番号：(022) 227-9871 F A X：(022) 216-5847 東京支店 電話番号：(03) 3258-1271 F A X：(03) 3258-1270 金沢営業所 電話番号：(076) 246-6601 F A X：(076) 246-6609 名古屋営業所 電話番号：(052) 211-6711 F A X：(052) 218-0736 大阪営業所 電話番号：(06) 6228-6481 F A X：(06) 6228-6484 福岡営業所 電話番号：(092) 433-8361 F A X：(092) 433-8360 【受付時間】 9:00~17:00（月曜日~金。土・祝日、長期休業を除く。） http://www.i-central.co.jp/common/pdf/150420-1.pdf</p>
2016/1/20	電気ファンヒーター	小泉成器株式会社	<p>[型式・機種等] KCH-1233 [問い合わせ先等] 小泉成器セラミックヒーター専用窓口 ◆専用フリーダイヤル：0120-300-731 ※携帯電話・PHSからも利用できますが、050などのIP電話からは接続できません。 ◆受付時間：9:00~17:00（土・日・祝日を除く） http://www.koizumiseiki.co.jp/</p>
2016/3/19	電気ストーブ	ユアサプライムス株式会社	<p>[型式・機種等] (1) リモコンタイプ/YA - C945SR (WH) / JANコード：4979966463951 (2) リモコンタイプ/KYA - C915R (WH) / JANコード：4979966464897 (3) メカタイプ/YA - C900S (WH) / JANコード：4979966463937</p> <p>[問い合わせ先等] ユアサプライムス 修理回収窓口 フリーダイヤル：0120-801-798（携帯電話・PHSからも利用可） 受付時間：9:00~17:30（土、日、祝日を除く） http://www.yuasa-p.co.jp/company/pdf/20160319.pdf</p>
2016/4/14	電気ストーブ	椋山紡織株式会社	<p>[型式・機種等] PCH-S6001 (W) ホワイト、PCH-S6001 (WR) ワインレッド [問い合わせ先等] 椋山紡織株式会社 カーボンヒーターご相談専用窓口 ◆フリーダイヤル：0120-51-7876（携帯電話・PHSからも利用可） ◆受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00（土・日・祝、夏季休暇及び年末年始を除く） http://www.sugibou.com/support/post.html</p>
2016/5/20	電気ファンヒーター	株式会社電響社	<p>[型式・機種等] DTC-A1215-WH、DKTC-A1215-WH、DKTC-A1215-BR [問い合わせ先等] ◆株式会社電響社 セラミックヒーター 交換窓口 専用フリーダイヤル（無料）：0120-257-217（携帯電話・PHSからも利用できます。） ◆受付時間：9:00~18:00（土・日・祝日、夏季休暇及び年末年始を除く） http://www.denkyosha.co.jp/notices/info160520.html</p>